

2005年11月15日06時39分頃の三陸沖の地震について

北海道から東北地方及び茨城県の太平洋沿岸に津波注意報

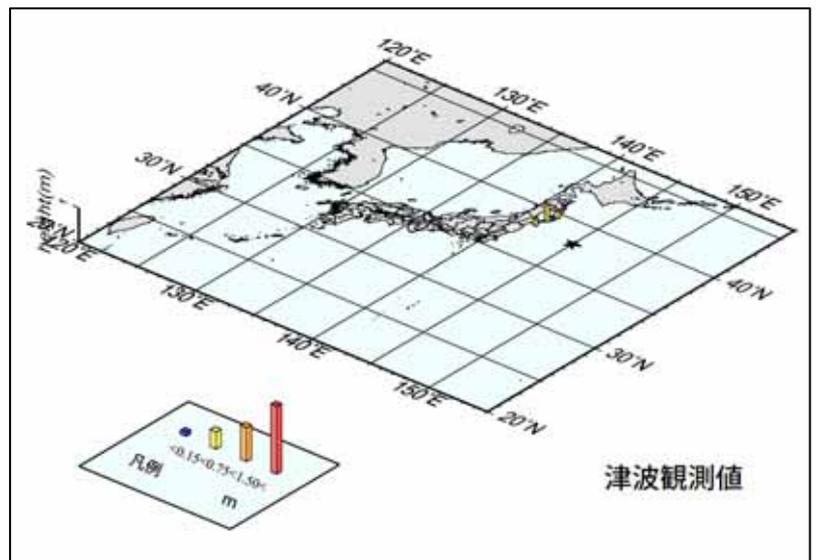
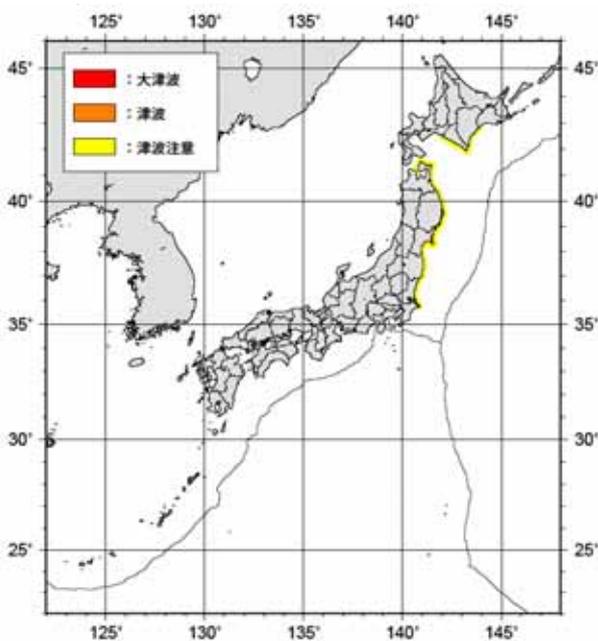
11月15日06時39分頃、三陸沖を震源とするマグニチュード(M)6.9(速報値)の地震が発生しました。この地震により06時46分に北海道太平洋沿岸中部と東北地方太平洋沿岸(岩手県、宮城県、福島県)に、「津波注意」の津波注意報を発表しました。さらに、07時42分に青森県太平洋沿岸及び茨城県に、「津波注意」の津波注意報を発表しました。注意してください。

15日08時00分現在、東北地方の太平洋沿岸で津波が観測されています。これまでに観測された津波の最大波は、大船渡で07時35分に観測された0.5mです。

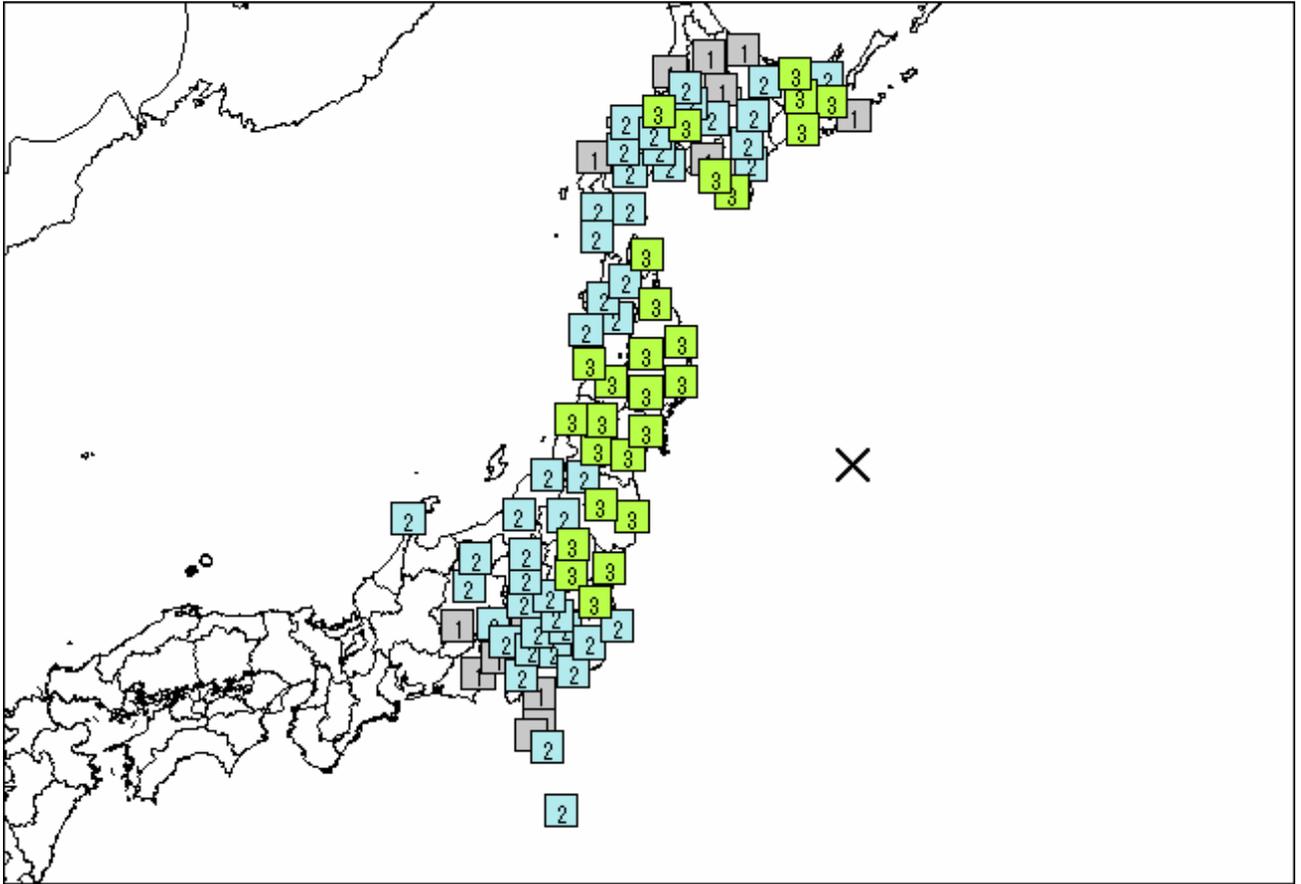
この地震により、北海道地方から関東地方にかけて震度3から1を観測しました。

この地震のメカニズムは、東西方向に張力軸を持つ正断層型です。

この地震の震央の北側では、1994年12月28日にM7.6の地震「平成6年(1994年)三陸はるか沖地震」が発生し、津波が観測されています。



津波予報の発表状況(左図)と津波の観測状況(右図)

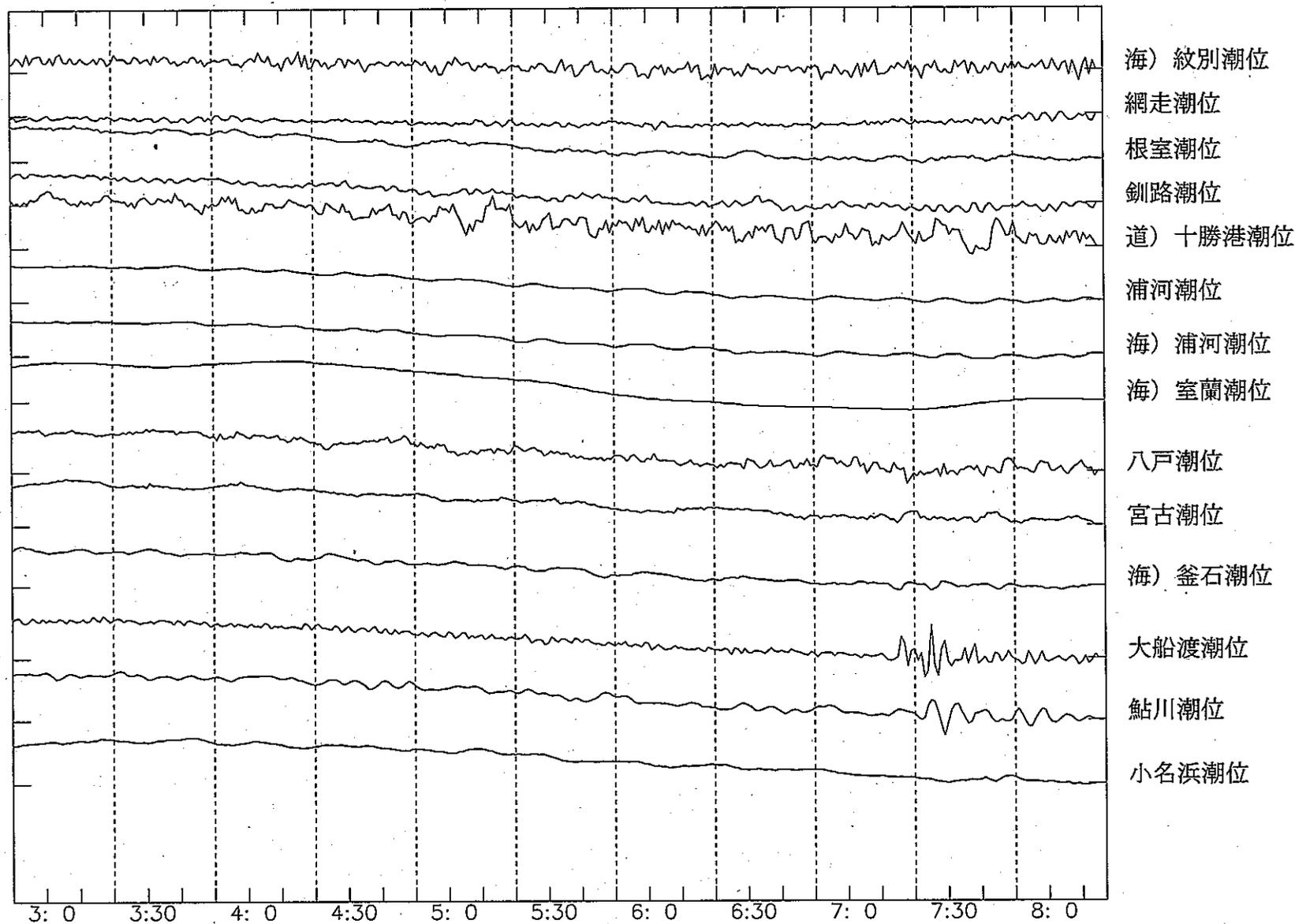


各地域の震度分布図

2005年11月15日三陸沖の地震による津波

< 2005/11/15 3:00 -- 2005/11/15 8:27 >

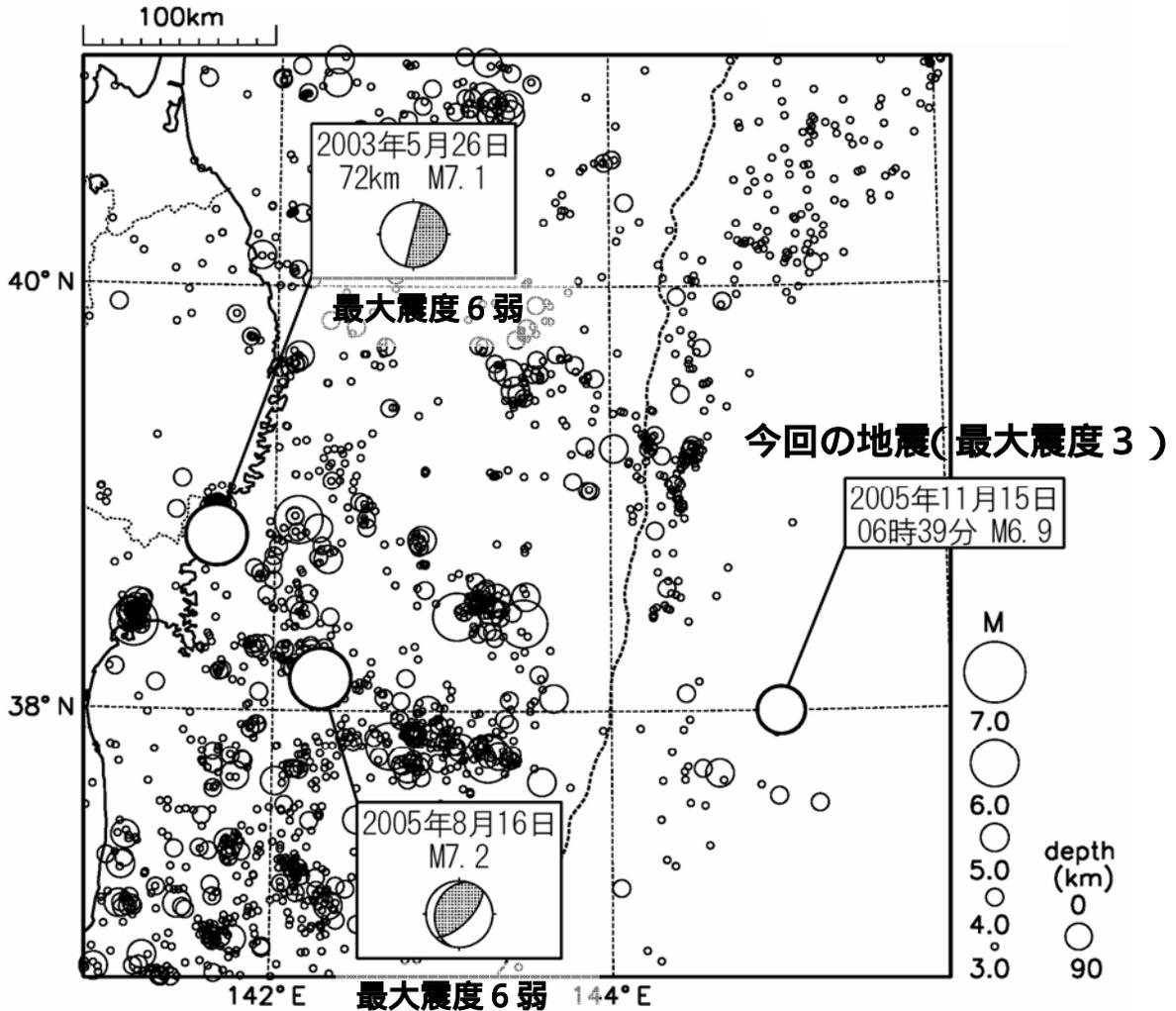
1.0 m



2005年11月15日 三陸沖の地震 (発生場所の詳細)

震央分布図

(2002年10月01日~2005年11月15日07時30分、深さ90km以浅、M3.0以上)



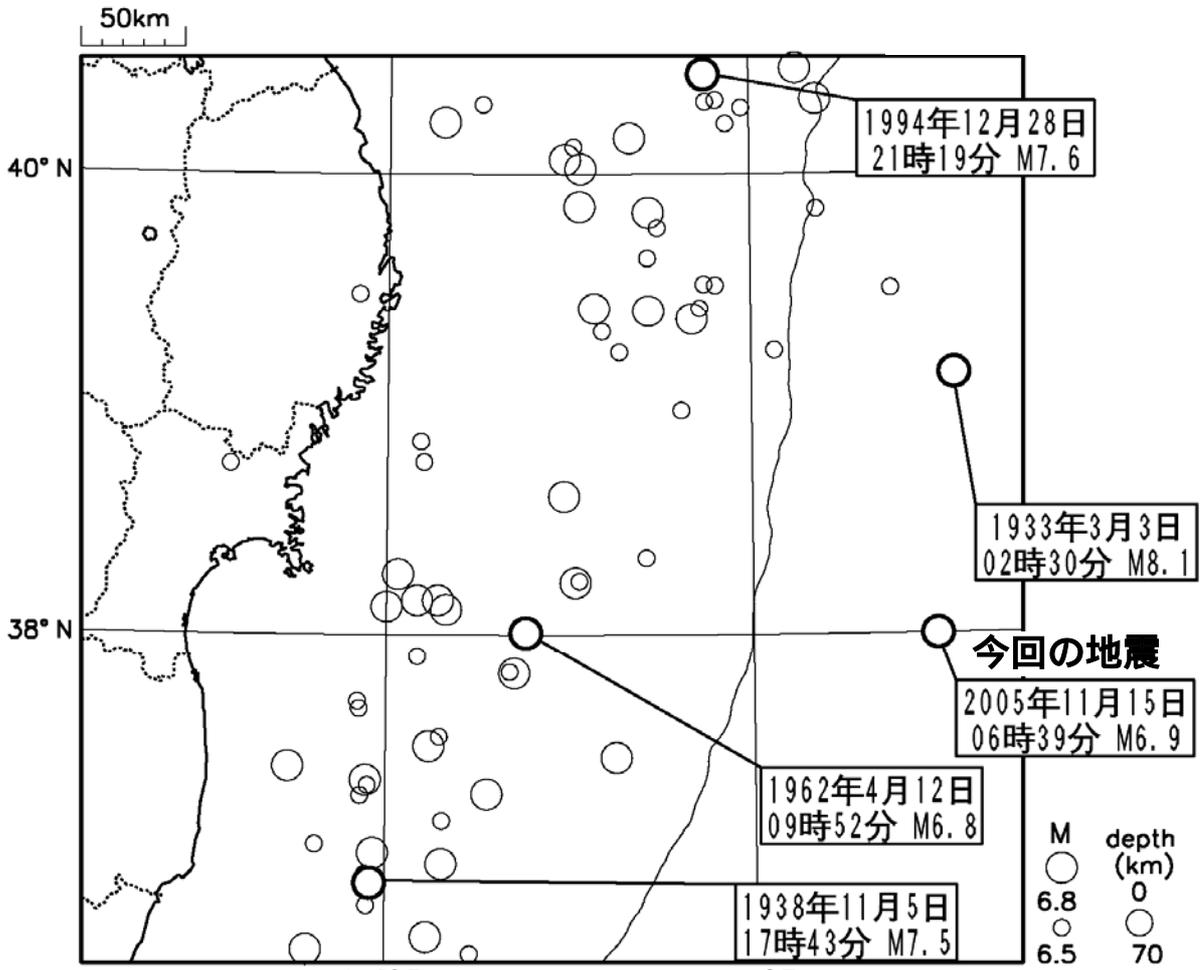
丸の大きさはマグニチュードの大きさを表す。

2002年10月以降、周辺で発生したM7.0以上の地震および今回の地震を吹き出しで示している。

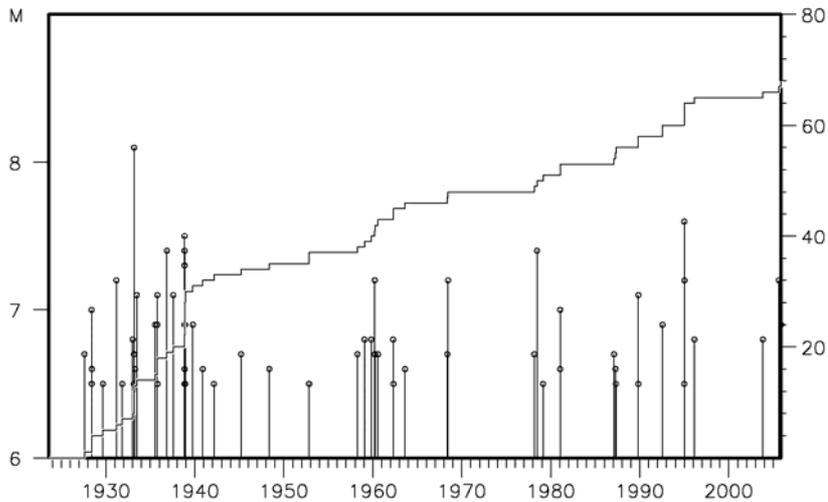
2005年11月15日 三陸沖の地震（周辺の過去の地震活動）

震央分布図

(1923年8月～2005年11月15日08時、深さ70km以浅、M6.5以上)



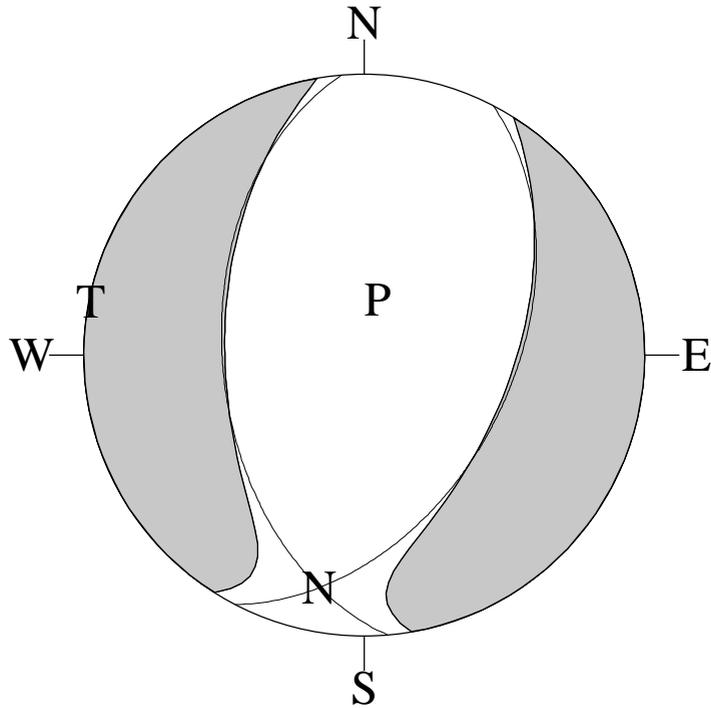
領域内の地震活動経過および回数積算図



横軸は時間、縦軸は左がマグニチュード、右が地震の積算回数。折れ線は地震の回数を足し上げたものであり、縦棒のついた丸は地震発生時刻とマグニチュードの大きさを表す。

発震機構解 [C M T 解] (暫定)

2005/11/15 06:38



東西方向に張力軸を持つ正断層型

Pは圧力軸、Tは張力軸の方向を示す。(下半球等積投影)

発震機構解 [C M T 解] について

地震波形には、地震時に働く力の特徴があらわれます。
また、地震時に働く力の向きは、断層の型により異なります。
C M T 解は、これらの性質を用いて地震波形から断層面を推定するものです。

以下に、発震機構解と断層の型の対応関係の典型的な例を示します。

